



日 時	平成24年11月17日(土) 9時30分~12時00分
場 所	新赤坂事務所：港区赤坂2-10-17 石原ビル2F
出席者	出席者：(理事)土屋、木村、西川、岩下、平山、川村、鈴木、野本(監事)なし スカイプ参加者：(理事)阪井(監事)なし
欠席者	(理事)正岡(土屋会長に議決委任)、竹政(木村理事に議決委任)、青木、金城、神野(監事)丹下、日野
議 題	特別事項 審議事項 1 書記・承認者指名 (会長) 2 10月度議事録確認 (総務部会) 3 会員入会承認・退会確認 (会員部会) 4 3月PE受験・登録セミナー開催案について (会員部会) 5 JPECとの調整事項確認 (会長) 6 次期役員選出の手順について (会長) 7 阿部会員からの次世代エネルギーに関するアドホックコミッティ企画 (総務部会) 案について 報告事項 1 PE・FE 東京試験支援結果報告 (会員部会) 2 ホームページ関連報告(更新・変更対応、アクセス情報ほか) (広報部会)
添付資料	資料1：3月PE受験・登録セミナー&JSPE入会 勧誘チラシドラフト



議事内容	アクション
<p>● 審議事項</p>	
<p>1. 書記・承認者指名 (敬称略) 議長：土屋 書記：鈴木 議事録承認者：岩下、平山</p>	(議長)
<p>2. 10月度議事録確認 前月書記の平山理事の読み合わせにより、議事録の確認を行った。 特記事項は以下の通り。 「審議事項5. PCセキュリティソフト購入の件」：購入済み。 「審議事項7. 倫理定着活動について各役員が協力できそうな事項について」： 引続き、10月度議事録記載内容に基づき、フォローすることとした。 「報告事項6. 総会について」：6月8日(土)は土屋会長の都合がつかないため、 6月15日(土)と予定変更することにした。 この日はJPEC理事会と重なる可能性が高いため、事前にJPECに知らせることとした。</p>	(総務部会)
<p>3. 会員入会承認・退会確認 新入会員 PE-0209 保谷 大輔 さん PEN-0090 清宮 正人 さん 資格変更 PE-0208 飛田 仁 さん (旧会員番号 PEN-0030) FE-0378 木下 遥 さん (旧会員番号 AF-0066) 退会者 なし 資格喪失 なし 会員数 10月度理事会後 PE 156名 準PE 46名 FE 124名 AF 32名 ST 2名 合計 360名 11月度理事会後 PE 158名 準PE 46名 FE 125名 AF 31名 ST 2名 合計 362名</p>	(会員部会)
<p>4. 3月PE受験・登録セミナー開催案について 東京は3月9日(土) 学士会館での開催とする。13時～16時を予定。 神戸は3月23日(土)の開催を目指し、日程・場所を詰める。 添付資料として、JPECに合格通知に同封願う予定のチラシドラフト参照。 試験的にツイッターにより、JSPEが以前作成したアカウントを利用して情報発信とセミナー 宣伝を行う。主な対象は、以前PE/FE試験を受験したが、その後PE試験・登録を目指すア クションを具体的にとっていない層。 上記にて、今後JPECへ共催を依頼し、細部を詰めていく。</p>	(会員部会)
<p>5. JPEC との調整事項確認 当面の課題である以下の項目につき当会のコンセンサスを整理し、JPECに当会の意向を 伝えるために諸事項の確認を行った。 □3月PE受験・登録セミナーの計画案 上記4. 参照。 □州登録状況の確認と対応策 平山理事より、現状の米州登録についての報告があり、またそれに基づき討議が行われ た。要点は以下。 ▶3～4か月前から、ワシントン州に登録できない、という会員・非会員からの問合せが6件 ほどきている。 ▶以前は「By comity」で登録できていたが、最近では「By exam」で申請する、すなわちワ</p>	(会長)



議事内容	アクション
<p>シントンで受験する(もう一度試験を受け直す)よう命じられるケースが出てきている。 >JPECからの情報では、10月の会議で決定する模様とのことであったが、現在のところその議事録がまたウェブサイトにアップされていない。 >渉外部会としては、場合によっては他州での登録を勧めることもある。 >JSPEとしての当面のアクションは、収集した情報を迅速に会員に広報すること。 >中長期的には、JABEEとABETの関係を再確認し、日本でABET認定を完結することや、JSPEを含む日本で登録できる体制を作ることも、可能性として検討することも視野に入れていく。</p>	
<p>6. 次期役員選出の手順について 1月以降の次年度予算編成活動とも関係するので、次期体制確立を早期に考えたい、との土屋会長からの発案があった。また土屋会長からは、次期は会長職を退くこと、また理事については継続したいとの意向が表明された。 次期体制確立の手順については、次回理事会において総務部会から起案することとした。これに関連する、現職理事の継続意思確認については、メールなどにより理事会を待たずに行うべきとの発言が鈴木理事からなされたが、実施責任者を含め具体的な方法は確定しなかった。</p>	(会長)
<p>7. 阿部会員からの次世代エネルギーに関するアドホックコミッティ企画案について 重油相当の成分を合成することができると言われて近年話題になっている藻類の増殖プラントに着目し、エンジニアリングレベルでの実現可能性をエネルギー収支や経済性なども考慮した形でフィージビリティスタディを行うアドホックコミッティをJSPE内に発足し、そのスタディ結果をJSPEからの提案という形で広く社会に訴えかけたい、という発案が阿部正会員からなされたので、同会員を理事会に招き、考えを伺った。 結果として、会員の関心を高める方向で企画案を推敲した上で、参加者を広く会員から募集し、実施可能性が高そうであれば次回理事会にて理事から世話人を選定し企画を進める方向性とした。</p>	(総務部会)
<p>● <u>報告事項</u></p>	
<p>1. PE・FE 東京試験支援結果報告 10/27(土)に事前説明会、10/28(日)に試験が実施された。 ボランティアの数はJSPE募集により46名(9名の非会員を含む)、JPECから14名、一般のアルバイトが12名であった。(JPEC作成の名簿による) NCEES会長 Gene Dinkins P.E. & P.L.S.をはじめ、3名のNCEESオブザーバーが来場された。 参加者等から寄せられたフィードバックを、11/11にJPEC/鈴木 律さんに送信した。 特に、ボランティアの数とその配置については、最適化の一層の努力をお願いした。また、JPECとの間で会談を持ち、課題を共有することとした。</p>	(会員部会)
<p>2. ホームページ関連報告(更新・変更対応、アクセス情報ほか) トップページに「PE登録情報」を記載した。(当日、広報部会担当理事は欠席であったが、事前の正岡理事のメールベースのインプットで、報告完了とみなす)</p>	(広報部会)
<p>・次回 12月15日(土)</p>	

承認	岩下 哲 
----	--



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会 (日本PE協会)

承認	平山 剛士	
承認	土屋 雅彦	
記録作成	鈴木 央	